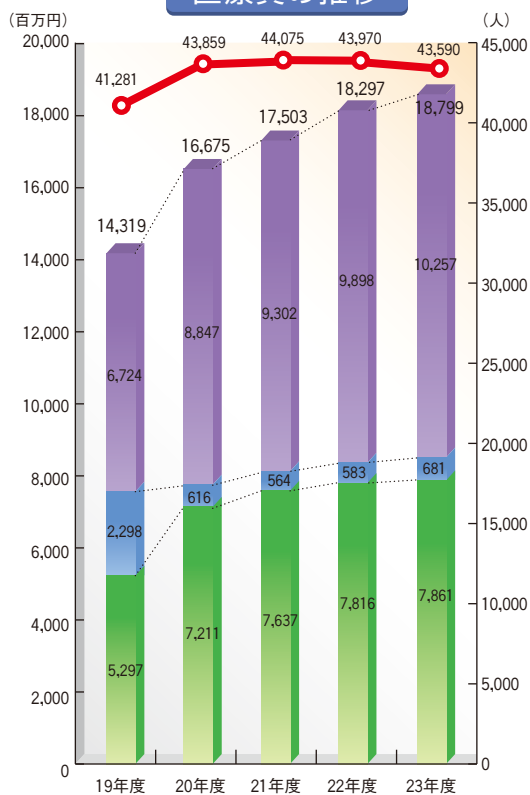


鹿 沼 市

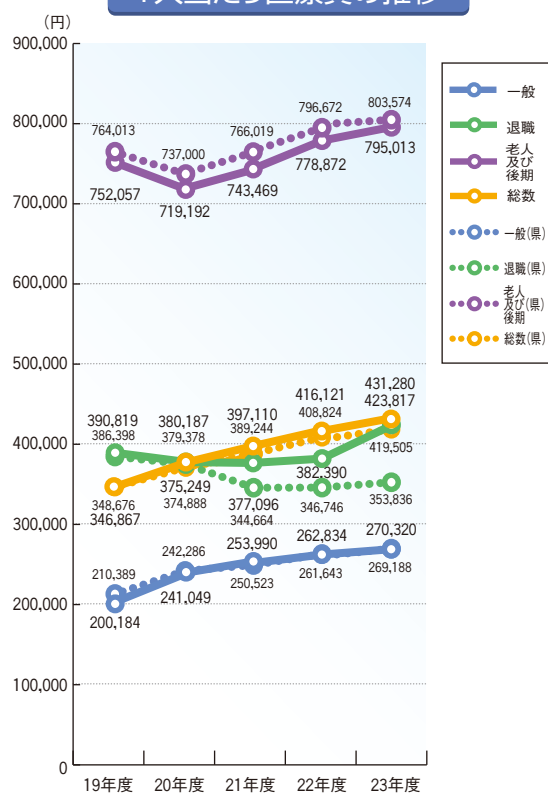
# 鹿沼市



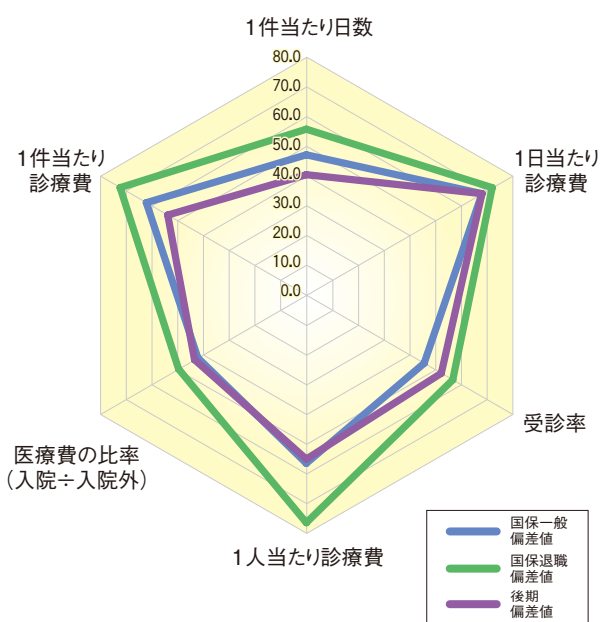
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

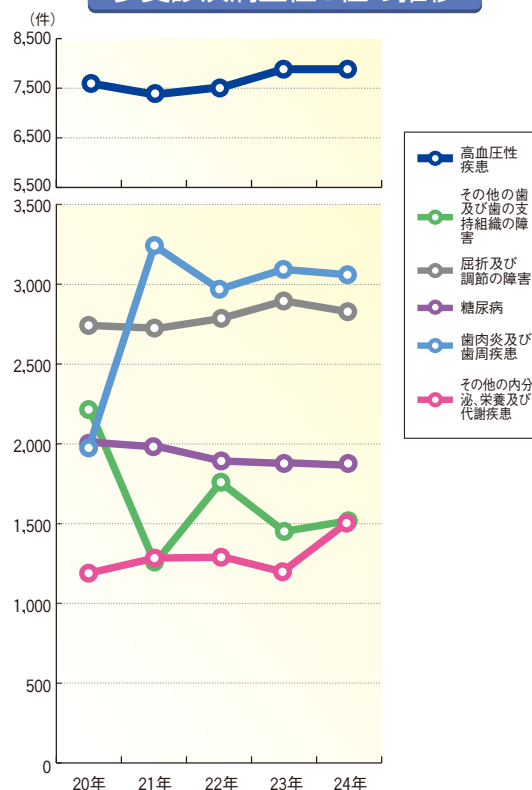


## 平成23年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

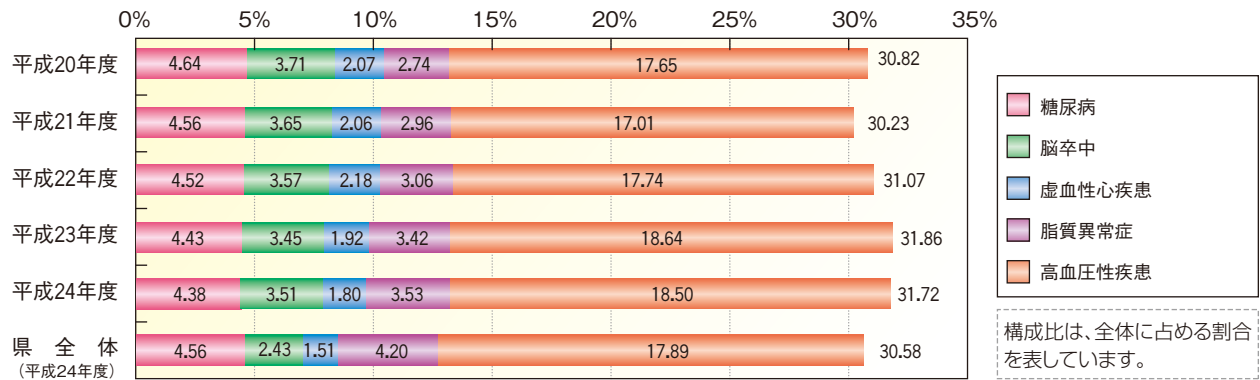


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

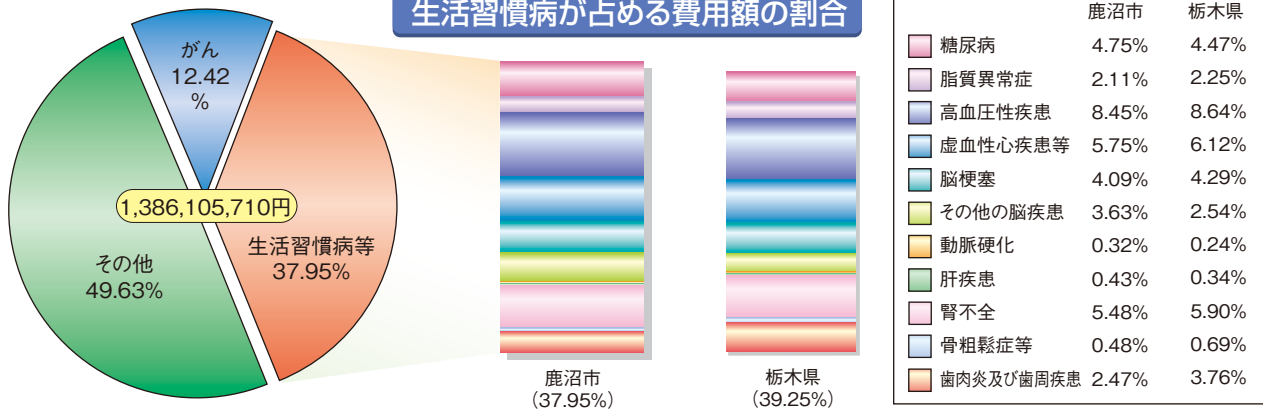
## 多受診疾病上位6位の推移



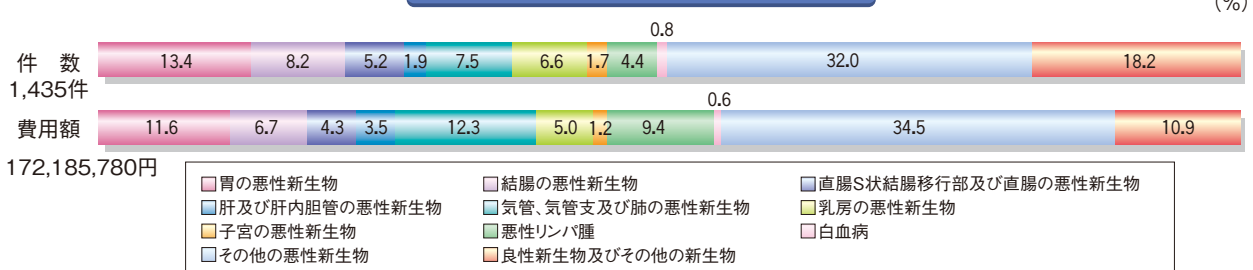
## 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



## 生活習慣病が占める費用額の割合



## がんの件数・費用額割合(部位別)



## 鹿沼市の状況

### ★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般7,861,166千円(100.6%)、退職681,073千円(116.9%)、後期10,257,259千円(103.6%)で、全体は18,799,498千円(102.7%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成23年度平均被保険者数は43,590人で、内訳は一般29,081人、退職1,607人、後期12,902人である。前年度と比較すると全体で99.1%と減少している。

また、平成23年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は431,280円(15,159円増)、一般は270,320円(7,486円増)、退職は423,812円(41,427円増)、後期は795,013円(16,141円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1日当たり診療費、1人当たり診療費はいずれの法別も高い偏差値である。

### ★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位糖尿病、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも5位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患は、年々増加傾向にあり、平成20年と比較すると件数・費用額共に1.2倍になっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、脂質異常症が年々増加している。

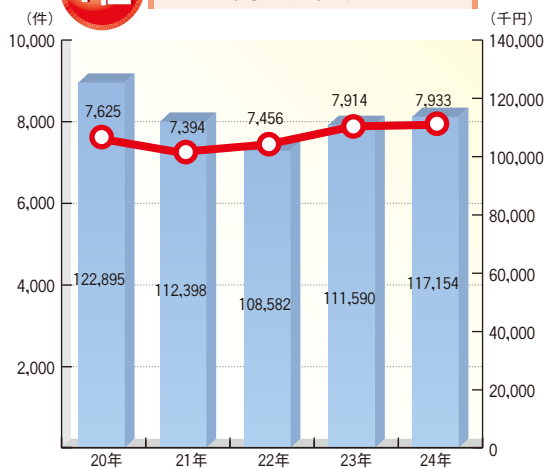
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が1,386,105,710円で、がんが12.42%、生活習慣病関連が37.95%を占めている(県全体 がん11.84%、生活習慣病関連39.25%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.45%、虚血性心疾患等5.75%、腎不全5.48%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

## 多受診疾病 上位6 の年次推移

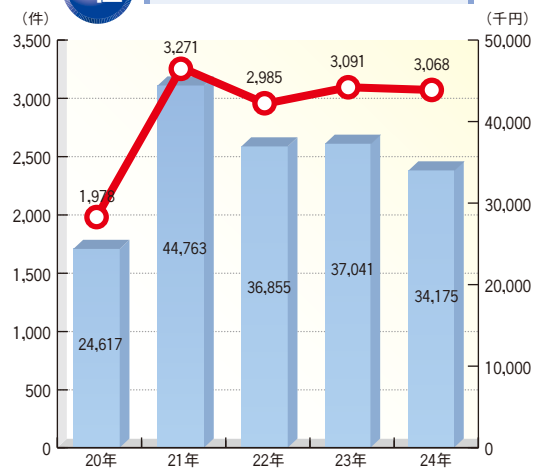
1位

高血圧性疾患



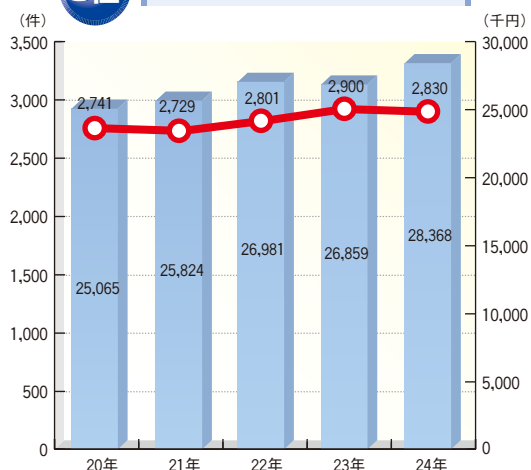
2位

歯肉炎及び歯周疾患



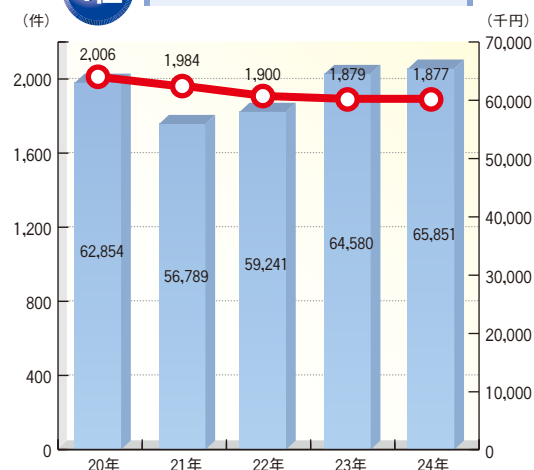
3位

屈折及び調節の障害



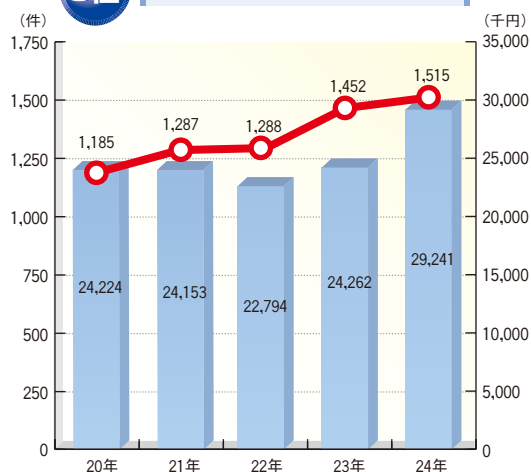
4位

糖尿病



5位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



6位

その他の歯及び歯の支持組織の障害

